

## 分かち合い 共に生きる (主な人権課題:女性(男女共同参画))

兵庫県では、男女が共に、いつでも、どこでも、いきいきと生活できる社会をめざして、さまざまな取組を進めています。誰もが、互いにその人権を尊重し、喜びも責任も分かち合いつつ、性別にかかわらず、その個性と能力を十分に発揮できる「男女共同参画社会」について考えてみましょう。

○ 次の事例を読み、自分の個性や能力を発揮できる、生き方の選択について考えてみましょう。

### 兵庫県内唯一の女性杜氏<sup>とうじ</sup>\*1の事例

(前略)大学で醸造学を学んでいたこともあり、酒造りは面白く、ベテラン杜氏さんのもとのことを学びました。(中略)私の中で「酒造りは男性の仕事」という気負いは無く、家業としての酒造りを続けていく選択肢として、私が酒を造ろうと自然に思えるきっかけを、蔵元の先輩が作ってくださったと思います。(中略)

食卓に日本酒の瓶を置いた時に、日常の食卓が華やぐイメージの商品造りを大切にしています。酒造りは力作業のイメージがありますが、衛生管理が非常に大事で、女性が活躍できる仕事も多くあります。女性が現場に入るので、蒸米を運ぶ時は台車を活用したり、蔵の中の段差を少なくしたり、作業効率を考えた設備投資など、負担が少ない職場環境を整備するよう心がけています。(後略)

\*1 酒づくりの職人の長。また、その職人。(出典:「きずな」(公財)兵庫県人権啓発協会、令和2(2020)年6月号)

### 自動車販売修理業 女性初の管理職の事例

(前略)特に不安を感じることなく、異性の部下ともうまくやりながら、常に自然体で仕事に取り組んできました。ただ、唯一の女性管理職の下にいることに、部下が不安を感じることはないか、やりにくく思うことはないかを意識的に尋ねることもあります。(中略)

勿論、女性初の管理職ですので、すべての方に問題なく受入れられた訳ではありません。営業本部の時代には、「営業経験もない管理職なんて」と、心ない言葉を投げかけられたこともあります。ただ、そういった批判は軽く受け流し、求められたもの以上のことを成果として出そうと心がけるうちに、そういった意見は耳には届かなくなりました。(中略)

家族の送迎、買い物等、女性の運転の機会も多いので、女性目線での営業が重要であると認識しており、多くの女性が活躍し続けられる営業スタイルの確立を模索しています。(後略)

(出典:ひょうご女性の活躍推進会議ホームページ、平成31(2019)年)

### 男性の育児休暇取得者の事例

取得前は、身近に男性の育児休業取得経験者がおらず、出世や給与などにも影響があるのではないかと不安がありました。育休中は子どもの世話をしながらの家事となり、想像以上に大変でしたが、育休取得のメリットもたくさんありました。まず、「無償労働<sup>\*2</sup>」といわれる家事・育児の大変さを体験し、家事負担の偏りをなくし、家事をいかに分業するかを考えるようになりました。また、限られた時間の中で仕事をこなすための効率化を図ることができました。

(インタビューより作成)

(\*2 右ページ「キーワード」参照)



○ 世界各国の男女格差

世界経済フォーラムは、各国における男女格差を測る「ジェンダー・ギャップ指数(Gender Gap Index:GGI)」を公表しています。この指数は、経済、政治、教育、健康の4つの分野のデータから作成され、スコアが「1」に近いほど格差がないことを示しています。令和2(2020)年の日本の順位は 153 か国中 121 位(令和元(2019)年は 149 か国中 110 位)でした。

日本の各分野のスコアや順位

分野	スコア(順位)
経済	0.598(115位)
政治	0.049(144位)
教育	0.983 (91位)
健康	0.979 (40位)

(参考)  
 ・「経済」分野:管理的職業従事者や労働参加率の男女比等  
 ・「政治」分野:国会議員や閣僚の男女比等

(出典:「共同参画 令和2(2020)年3・4月号」男女共同参画局)

GGI(2020)  
上位国及び主な国の順位

順位	国名	スコア
1	アイスランド	0.877
2	ノルウェー	0.842
3	フィンランド	0.832
⋮		
15	フランス	0.781
19	カナダ	0.772
21	英国	0.767
53	米国	0.724
76	イタリア	0.707
81	ロシア	0.706
106	中国	0.676
108	韓国	0.672
121	日本	0.652

○ 日本の家事労働の分担状況と目標

項目	現状	少子化社会対策大綱での目標(~2025年)
男性の育休取得率*2	7.48% (女性は 83.0%) (令和元(2019)年)	30%
6歳未満の子を持つ男性の育児・家事時間*3	1日 1時間 23分 ※女性は 7時間 34分 (平成 28(2016)年)	1日 2時間 30分

出典:「少子化社会対策大綱(令和2(2020)年)」(内閣府)  
 \*2 「雇用均等基本調査(令和2(2020)年)」(厚生労働省)  
 \*3 「社会生活基本調査(平成 29(2017)年)」(総務省)

◇ SDGs\*45 ジェンダー平等を実現しよう

ターゲット2 : 人身売買や性的、その他の種類の搾取など、すべての女性及び女児に対する、公共・私的空間におけるあらゆる形態の暴力を排除する。

ターゲット5 : 政治、経済、公共分野でのあらゆるレベルの意思決定において、完全かつ効果的な女性の参画及び平等なリーダーシップの機会を確保する。

(\*4 第2部「総括 すべてはつながっている」参照)



○ キーワード

◆ 無償労働

市場で労働力を提供して対価を得る有償労働に対して賃金や報酬が支払われない家事、育児、介護・看護、買物、ボランティア活動等をさす。

◆ 女子に対するあらゆる形態の差別の撤廃に関する条約(女子差別撤廃条約、昭和54(1979)年国連採択、昭和60(1985)年日本批准)

男女の完全な平等の達成に貢献することを目的として、女子に対するあらゆる差別を撤廃することを基本理念としている。



◆ 雇用の分野における男女の均等な機会及び待遇等の確保に関する法律(男女雇用機会均等法、令和元(2019)年改正)

(第2部「テーマ11 公正な社会をこの手で」参照)

○ 関係機関・施設等

◆ 兵庫県立男女共同参画センター・イーブン



◆ 内閣府男女共同参画局



考えてみよう

Q1. 私たちの日常生活で、性別により役割が固定化されたり、必要以上に区別されたりしているものを点検してみよう。

Q2. 「SDGs5 ジェンダー平等を実現しよう」について調べ、男女共同参画社会に関する課題と取組をまとめてみよう。

Q3. ジェンダー・ギャップ指数の上位の国々の取組を調べてみよう。